



みやかわ

会津美里町立宮川小学校
令和4年度学校だよりNo.33
令和4年12月8日

会津美里町立宮川小学校長 星 潔

2学期ラストスパートです！

明日からの2学期の登校日はいよいよ11日です。どの学年も2学期のまとめに向けて、各担任と子どもたちがスクラムを組んで、一生懸命に取り組んでいます。良い締めくくりをして冬休みを迎えたいという各学年の思いを強く感じることができます。「チーム宮川」ラストスパート、視界良好です。

また12月の忙しい中ですが、昨日より個別懇談がスタートしています。お忙しい中、お時間を割いていただき誠にありがとうございます。学校と家庭が子どもたちの輝く未来のために、これからも手を携えていければと思います。私たちは今回の懇談を生かして参ります。今後ともご協力をよろしくお願いたします。



授業の様子から！

11月後半から12月前半にかけても各学年の学びは充実していました。以下その一端を紹介いたします。まずは各学年の食育授業です。それぞれの学年に応じて、子ども達に正しい食生活のあり方を理解してもらい、今後の生活に活かしてもらうために、主任栄養技師の先生においていただき授業を行いました。ご家庭でも子どもたちに学習のことを聞いていただくなどして、更に食習慣を高めていただければありがたいです。



1年生「やさいをたべよう」



2年生「すききらいをしないで食べよう」



3年生「どうしてすききらいをしてはいけないのか考えよう」



4年生「体によいおやつのとり方」



5年生「朝食を考えよう」



6年生「食生活を見直し、生活習慣病を予防しよう」

5年生は本郷地区に出かけ、流紋焼の手びねりを体験してきました。町の産業である焼き物に触れ、町の良さを改めて感じる事ができた子ども達。焼き物づくりの楽しさも感じ取ることができたようです。



真剣な表情で、集中して作品作りに取り組む5年生です！！

3年生は消防署員の方を講師にお迎えして、消防署出前授業を実施しました。ホースに触れたり、署員の方の話を聞いたりして、本物に触れる学習を行いました。



校長のひとりごと

またまたサッカーワールドカップのことを記述すると、校長はサッカーのことしか考えていないのではないと思われるかもしれないので、今号は別の話題を書こうと思っていましたが、どうしてもサッカーのことを書かずにはいられない自分がいました。申し訳ありません。まずは対スペイン戦です。結果は見事な逆転勝利で、グループ首位での決勝トーナメント進出です。堂安選手の魂のこもったキーパーの手をはじく弾丸ゴール。あきらめない三苫選手の走りから、ラインぎりぎりまでボールに追いつき、センタリングからの田中選手のゴール。試合の映像ではラインを超えていたように見えたので「ノーゴール」かと思いましたが、ビデオ判定の結果、ボールがラインにわずかにかかっており逆転ゴールとなりました。まさに執念です。そしてそこからの耐える時間は本当に長く感じました。それでも日本チームは、全員で統率した守りを見せて見事に勝利の瞬間を迎えました。大感動です。ベンチも含め、まさにチームの力を感じました。前号に記述した積極的なチャレンジと最後の最後まであきらめない強い「心」を期待以上に日本代表は感じさせてくれました。そして対クロアチア戦です。延長戦、そしてPK戦という死闘でした。結果は悔しいものとなってしまいましたが、日本代表の「サムライスピリット」は誇らしいものがありました。それにしてもPKは見ている方も苦しいものですね。大変古い話ですが、1994年のワールドカップ決勝の最終5人目でPKを外して敗北した当時のスーパースターであるイタリア代表のロベルト・バッジョは「PKを外せるのは、蹴る勇氣を持つ者だけだ」と語ったそうです。勇氣あるチャレンジが次への成功を生むのだと思います。やはり失敗を恐れてはなにもできません。子ども達にも失敗を怖がらずチャレンジすること、そして失敗から立ち上がる強い心を持つことの大切さを教えていきたいと強く思いました。それにしても大きな感動とチャレンジをありがとうと日本代表には伝えたいと思います。